

上水道について

Q 1. 下流域の水道水は飲用しても大丈夫ですか？

A 1. 伊尾木地区の上水は川北及び旧水道庁舎の水源地から有ノ木橋を経由して送水しているため、安全です。

Q 2. 水道水の検査は行われていますか？

A 2. PFASについては浄水の水質検査を年4回、原水の水質検査を年1回実施しています。

Q 3. 水道水は安全ですか？

A 3. 全ての測定地点で10ng/L(暫定目標値の5分の1) 未滿を確認しており飲用に問題 ありません。

安芸市上下水道課HP (<https://www.city.aki.kochi.jp/life/dtl.php?hdnKey=7751>)

有機フッ素化合物について

Q 4. どうして環境中で検出されるのですか？

A 4. 自然環境中では分解しにくいいため、過去に使用されたものが環境中に溶け出しているものと考えられます。

Q 5. 環境水が指針値 (50ng/L) を超えたらどうなるのですか？

A 5. 環境水 (公共水域や地下水等) における50ng/Lという値は「体重50 kgの人が1 日2リットルの水を一生飲み続けても健康への悪影響が生じないと考えられるレベル」です。最終処分場の放流水等規制値及び目標値は定められておらず、また、飲用に供している水ではないため、人体への影響はないものと考えています。

井戸水の使用について

Q 6. 今後、下流域で飲用に井戸を掘ろうと思っているが、検査した方がいいですか？

A 6. 井戸水については、設置者の判断で利用することになりますので、ご心配でしたら民間の検査機関にて検査することをお勧めします。なお、水道水の安全性は確認されています。

Q 7. 井戸水を農業で使っているが影響はないですか？

A 7. 農林水産省や研究機関の調査では、農地土壌や農業用水からコメやバレイショ、キャベツ等の農作物へのPFOS及びPFOAの移行・蓄積は非常に低いことが分かっています。ただし、品目ごとの詳しい移行性については引き続き調査が行われています。